

2024年3月期  
第2四半期  
決算補足説明資料

株式会社 **日本トリム**  
証券コード：6788（東証プライム）

2023年11月8日

過去最高 売上高

**10,452百万円**  
(前年同期比 15.1%増)

経常利益

**1,764百万円**  
(前年同期比 36.3%増)

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

**1,193百万円**  
(前年同期比 40.8%増)

## 当第2四半期(7月～9月)で、売上高、営業利益、経常利益の四半期過去最高を更新！！

### ● 整水器

主軸の職域販売は売上高2,465百万円（前年同期比21.6%増）。職域セミナー回数はコロナ禍前の水準に回復。価格改定も寄与。卸・OEM部門は売上高672百万円（前年同期比65.9%増）。既存OEM先が大幅増加。新規OEM先の立ち上がりも順調。

### ● 浄水カートリッジ

価格改定前の駆け込み需要の反動減は正常化し、価格改定も寄与して売上高2,820百万円（前年同期比9.2%増）。

### ● インドネシア ボトルドウォーター事業

卸ルート変更、マーケティング強化施策が奏功し、ペットボトル、ガロンボトルともに月間売上高過去最高を記録。第1四半期（1月～3月）は先行投資により100百万円の営業損失となるも、第2四半期（4月～6月）は46百万円の営業利益を計上。

### ● 電解水透析

第68回日本透析医学会学術集会・総会（2023年6月）への出展後、施設との商談が増加。2023年9月末現在 32施設、961床。

### ● ステムセル研究所

売上高 1,213百万円（前年同期比17.1%増）。第1四半期に続き、四半期売上高過去最高を更新。利益面も四半期最高を更新。

# 2024年3月期 第2四半期 連結業績サマリー

単位：百万円 (百万円未満切捨)	2023年3月期 2Q実績		2024年3月期 2Q実績		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	9,081	100.0%	<b>10,452</b>	<b>100.0%</b>	1,371	15.1%
売上原価	2,787	30.7%	<b>3,082</b>	<b>29.5%</b>	294	10.6%
売上総利益	6,293	69.3%	<b>7,370</b>	<b>70.5%</b>	1,077	17.1%
販売費及び一般管理費	5,072	55.9%	<b>5,684</b>	<b>54.4%</b>	612	12.1%
営業利益	1,220	13.4%	<b>1,686</b>	<b>16.1%</b>	465	38.1%
経常利益	1,294	14.3%	<b>1,764</b>	<b>16.9%</b>	469	36.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	847	9.3%	<b>1,193</b>	<b>11.4%</b>	346	40.8%
一株当たり四半期純利益(円)	110.60	—	<b>155.76</b>	—	45.16	40.8%

## 売上高のポイント

- 第1Qに続き四半期過去最高を更新
- 整水器、CTRの販売増、価格改定寄与
- ボトルドウォーター事業(インドネシア)は第1Qの前年同期比減を解消し、増収

## 売上総利益率の主な変動要因

- 整水器、CTRの価格改定 (+)
- 原材料価格の高騰 (-)

## 販売費及び一般管理費のポイント

- 広告宣伝費 +74百万円
  - ①整水器販売事業のテレビCMやタレントを起用した広告費の減少
  - ②ボトルドウォーター事業のテレビCMなどの先行投資による増加
- 人件費 +182百万円  
定期昇給及び人員増、J-ESOP導入による株式報酬費用などの増加

# 2024年3月期 第2四半期 セグメント別売上高

単位：百万円 (百万円未満切捨)		2023年3月期 2Q実績		2024年3月期 2Q実績		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
ウォーターヘルスケア	(フロービジネス)						
	DS事業部 (職域販売)	2,026	22.3%	<b>2,465</b>	<b>23.6%</b>	438	21.6%
	HS事業部 (取付・紹介販売)	778	8.6%	<b>811</b>	<b>7.8%</b>	33	4.2%
	SS事業部 (店頭催事販売)	248	2.7%	<b>267</b>	<b>2.6%</b>	19	7.8%
	卸・OEM部門	405	4.5%	<b>672</b>	<b>6.4%</b>	267	65.9%
	メンテナンス部門	176	1.9%	<b>172</b>	<b>1.7%</b>	△4	△2.3%
	リプレイス部門	154	1.7%	<b>173</b>	<b>1.7%</b>	19	12.9%
	WEB販売	224	2.5%	<b>245</b>	<b>2.3%</b>	21	9.5%
	整水器合計	4,013	44.2%	<b>4,808</b>	<b>46.0%</b>	794	19.8%
	(ストックビジネス)						
	カートリッジ	2,582	28.4%	<b>2,820</b>	<b>27.0%</b>	238	9.2%
	(子会社売上)						
	広州多寧健康科技有限公司	93	1.0%	<b>80</b>	<b>0.8%</b>	△13	△13.9%
	PT. SUPER WAHANA TEHNO	836	9.2%	<b>963</b>	<b>9.2%</b>	126	15.1%
(その他)	399	4.4%	<b>487</b>	<b>4.7%</b>	87	22.0%	
小計	7,926	87.3%	<b>9,160</b>	<b>87.6%</b>	1,233	15.6%	
医療関連	再生医療関連事業	1,076	11.9%	<b>1,248</b>	<b>11.9%</b>	172	16.0%
	電解水透析事業	78	0.9%	<b>44</b>	<b>0.4%</b>	△34	△43.7%
	小計	1,154	12.7%	<b>1,292</b>	<b>12.4%</b>	137	11.9%
連結合計	9,081	100.0%	<b>10,452</b>	<b>100.0%</b>	1,371	15.1%	

## <日本トリム>

### 整水器販売

- 全体的に価格改定が寄与
- DS事業部 (職域販売)  
セミナー数はコロナ禍前水準を回復。本年6月に月間過去最高受注を記録し、その後も前年を上回る受注を獲得。四半期連結売上高過去最高記録更新に大きく貢献。
- 卸・OEM部門  
既存OEM先が大幅増加。新規OEM先の立ち上がりも順調。
- WEB販売  
価格改定前の駆け込み需要反動減が正常化し、第1Qの売上高前年同期比減を解消。

### カートリッジ

価格改定前の駆け込み需要の反動減が正常化し、価格改定寄与もあり売上高前年同期比増はさらに伸長。

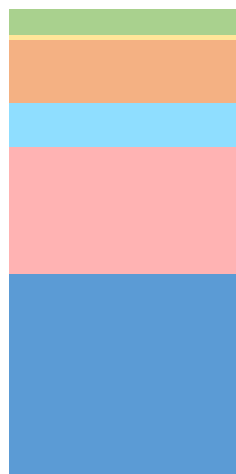
## <PT.SUPER WAHANA TEHNO>

### ボトルドウォーター事業

- 第1Qの卸ルート大幅変更による販売鈍化は正常化し、初となるテレビCMの効果で販売が増加。ペットボトル、ガロンボトルともに月間売上高過去最高を記録。

# 2027年3月期の売上高目標

198億円

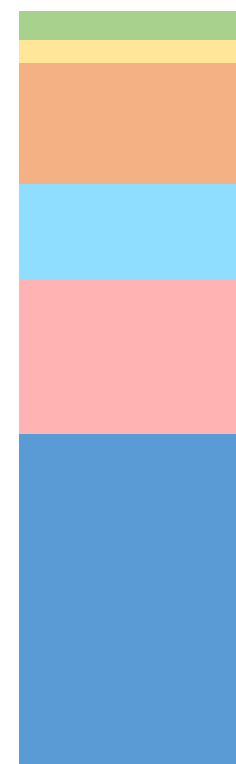


■ その他	: 11億00百万円
■ 電解水透析	: 2億00百万円
■ 再生医療関連	: 26億10百万円
■ インドネシア	: 18億80百万円
■ カートリッジ	: 53億40百万円
■ 整水器	: 86億70百万円

2024年3月期計画



320億円



■ その他 + 新規分野	: 14億円
■ 電解水透析	: 10億円
■ 再生医療関連	: 51億円
■ インドネシア	: 40億円
■ カートリッジ	: 65億円
■ 整水器	: 140億円

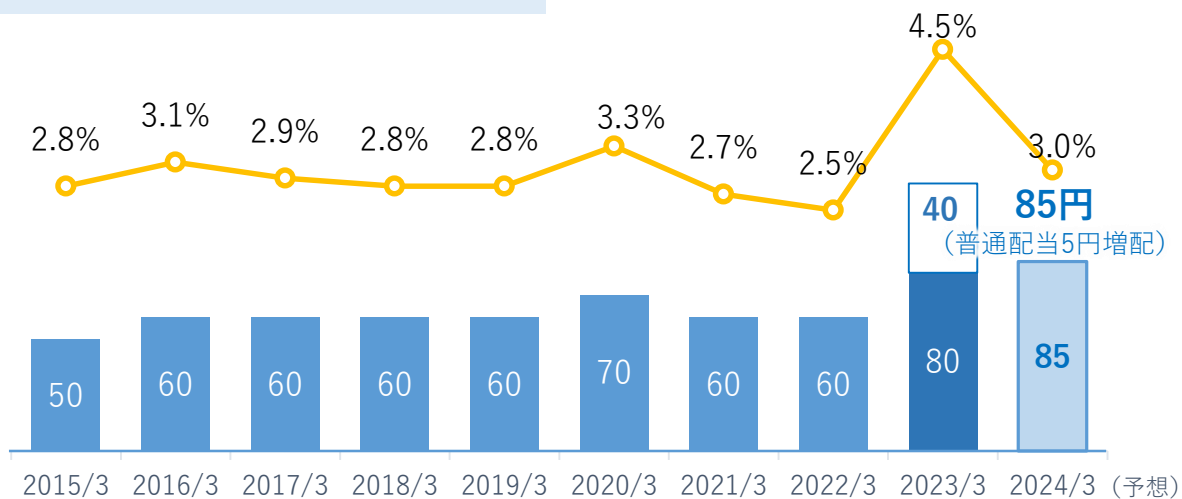
2027年3月期目標

## 資本政策の基本方針

- 1 資本効率性の向上 目標指標：ROE 10%以上
- 2 株主還元の強化 基準：DOE 3%
- 3 財務健全性の維持

※ ROE（自己資本利益率） ※ DOE（株主資本配当率）= ROE × 配当性向

## 配当金額・DOEの推移



2024年3月期  
期末配当予想

85円

40周年記念配当を  
除いて5円増配

DOE 3.0%

配当性向 34.8%

※ 会社予想ベース

## 株主優待制度

弊社商品 30%オフ

## ROEの推移

2023年3月期  
(実績)  
8.1%

2024年3月期  
(目標)  
8.7%

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。